

**GIGAスクール構想のもとでの中学校美術科，  
高等学校芸術科(美術，工芸)，高等学校美術科の  
指導について**

# GIGAスクール構想のもとでの中学校美術科，高等学校芸術科（美術，工芸）， 高等学校美術科の指導においてICTを活用する際のポイント

## 美術科，芸術科（美術，工芸）における学習指導要領とICT活用の関係

美術科，芸術科（美術，工芸）においては，ICTを活用する学習活動と，実物を見たり，実際に対象に触れたりするなどして感覚で直接感じ取らせる学習活動とを，題材のねらいに応じて吟味し，ICT端末を効果的に用いて指導を行うことが重要である。

例



【作品を撮影，トリミングをする】



【複製し，全体を考えて再構成する】

### 「A表現」

「A表現」の学習においては，学習効果を高めるために，視聴覚機器などを用いて表現方法を提示するなど，ICTを活用するとともに，美術の表現の可能性を広げるために，効果的に写真・ビデオ・コンピュータなどの映像メディアの積極的な活用を図ることが求められる。映像メディアによる表現は，今後も大きな発展性を秘めており，これらを活用することは表現の幅を広げ，様々な表現の可能性を引き出すために重要であるとともに，アイデアを練ったり編集したりするなど，発想や構想の場面でも効果的に活用できるものである。また，生徒の制作の過程や作品をICT端末のカメラ機能を使って撮影し，クラウドなどに保存して振り返りの学習に活用したり，作品の写真を大型モニターなどに映し出して発表したりするなどの活用も考えられる。

# GIGAスクール構想のもとでの中学校美術科，高等学校芸術科（美術，工芸）， 高等学校美術科の指導においてICTを活用する際のポイント

## 美術科，芸術科（美術，工芸）における学習指導要領とICT活用の関係

例



【作品の調査や鑑賞に活用する】



【大型モニターを用いて話し合う】



【作品を撮影し共有する】



【鑑賞後、コメントを記入して共有する】

### 「B鑑賞」

「B鑑賞」の学習においては、実物と直接向かい合い、作品のもつよさや美しさについて実感を伴いながら捉えさせることが理想であるが、それができない場合は、大きさや材質感など実物に近い複製，作品の特徴がよく表されている印刷物などとともに，ICT端末やクラウドなどに保存した画像や映像などを使い，効果的に鑑賞指導を進めることが必要である。

また，鑑賞する作品や作者について，それぞれの生徒が情報通信ネットワークを活用して調べたり，美術館，博物館などのWebページを閲覧したりするなどして，生徒の見方や感じ方を広げたり，深めたりするような活用も考えられる。